

《平成19年度計画進捗状況》

I. 大学の教育研究等の質の向上

1 教育研究

(1) 教育内容等

- ① 入学者選抜の改善
 - ・AO入試など多様な入試制度の実施と入試募集単位の検討
- ② 教育内容の充実・改善
 - ・現代GP取組事業を通じた学部教育の充実 [人間社会学部、看護学部]
 - ・特色GP取組事業「大学初年次数学教育の再構築」の採択 [総合教育研究機構] 【新規】
 - ・がんプロフェッショナル養成プラン「6大学連携オンコロジーチーム養成プラン」 [看護学研究科] 【新規】
 - ・外国語でのコミュニケーション能力向上への取組
- ③ 多様な教育・履修システムの構築
 - ・副専攻課程「堺・南大阪地域学」の開講
 - ・転学部・転学科制度の実施
 - ・単位互換制度の拡充(大学コンソーシアム大阪加盟 48 大学との連携)
 - ・社会人リカレント教育の充実
 - なんばサテライト教室の運営 [経済学研究科]
 - 森ノ宮サテライト教室の設置 [看護学研究科] 【新規】
 - 長期履修制度の導入 [理学・人社・看護・総リハ]
- ④ 適切な学生収容定員の検討
 - ・大学の将来像(ビジョン)についての検討

(2) 研究水準等

- ① 大学としての重点的な取組み
 - ・IT、バイオ、環境等の重点的研究や産学官共同プロジェクト研究等の推進
 - ・21世紀COE、現代GPなど既存プロジェクトの推進と新規プロジェクトの採択
- ② 成果の社会への還元
 - ・企業等との共同研究や自治体との連携推進

(3) 教育研究の実施体制

- ① 教育研究体制の充実
 - ・総合リハビリテーション学研究科(博士後期課程)の設置準備(平成21年4月開設) 【新規】
 - ・サバティカル制度の導入に向けた規程の整備
- ② 全学教育研究組織の確立
 - ・FD活動の充実(FDワークショップ、FDセミナーなど) [総合教育研究機構]
 - ・大阪市立大学との包括連携協定に基づく大学図書館の相互協力事業の開始 【新規】
 - ・教育研究支援システムのリプレイス
 - ・新図書館システムの利用者サービスの向上
- ③ 附属施設の展開
 - ・心理臨床センターの本格運営(有料化)
 - ・療養学習支援センターでの看護援助プログラムの展開

(4) 学生への支援

- ① 相談機能の充実
 - ・学生支援GP「WEB学生サービスセンター構想」の推進 【新規】
- ② 就職支援の充実
 - ・学内会社説明会の開催、English Café の開設 【新規】

2 社会貢献等

(1) 社会との連携

- ① 社会人に開かれた大学の充実
 - ・なんばサテライト教室の運営 [経済学研究科]、森ノ宮サテライト教室の設置 [看護学研究科] 【新規】
 - ・長期履修制度の導入 [理学・人社・看護・総リハ]
 - ・多様な公開講座(26講座→33講座)と大阪府と連携した「アクティブシニア府立大学連携セミナー」の実施【新規】
- ② 高等学校等との連携の充実 [工学研究科、総合教育研究機構]
- ③ 産学官連携の拡充
 - ・共同研究・受託研究の件数の増加(共同210件→217件、受託130件→157件)
 - ・大学発ベンチャー創出累計 (14件→15件) 【中期計画達成】
 - ・特許出願件数(90件→122件)、特許取得累計(12件→17件)
 - ・府内自治体等との連携の充実(大阪府環境農林水産総合研究所と包括連携協定の締結)
- ④ 地域の大学との連携(大阪市立大学)

(2) 国際交流

- ・国際交流協定や国際協力活動(JICA)を通じた国際交流の推進

II. 業務運営の改善及び効率化

1 運営体制の改善

- ・全学的な視点に立った経営戦略の推進と予算の重点配分の実施
- ・内部監査の充実

2 教育研究組織の見直し

- ・総合リハビリテーション学研究科(博士後期課程)の設置準備(平成21年4月開設) 【新規】
- ・「21世紀科学研究所」による部局の枠を超えた共同研究の推進

3 人事の適正化

- ・裁量労働制の導入に向けた検討
- ・業績評価の給与への反映(事務職員)、研究業績を反映した研究費配分の実施
- ・講師以上の職階への任期制の導入
- ・教員組織のスリム化

4 事務等の効率化・合理化

- ・アウトソーシングや人材派遣サービスの活用

III. 財務内容の改善

1 外部研究資金その他の自己収入の増加

- ・外部研究資金の獲得(30%→63.3%)
- ・インセンティブ保持方策による外部研究資金の獲得強化

2 経費の抑制

- ・教員人件費の削減
- ・効率的な事務処理、事務職員の人件費及び管理的経費の削減

IV. 自己点検・評価及び当該状況に係る情報の提供

1 評価の充実

- ・全学的方針に基づく自己点検・評価の実施

2 情報公開等の推進

- ・戦略的広報活動の充実(FM放送を利用した広報活動、ホームページのリニューアル)

V. その他業務運営

1 キャンパスプランに基づく学舎整備

- ・総合教育研究棟の整備(平成20年4月供用開始)
- ・獣医学舎、先端バイオ棟、サイエンス棟の整備着手(平成21年度供用予定)

2 安全管理等

- ・全学的な安全衛生管理・危機管理の実施
- ・「こころの健康相談コーナー」の開設 【新規】

3 人 権

- ・学内ハラスメントの防止対策ガイドラインの運用、研究倫理の基準や対応方針の設定